

平成25年度

教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行状況についての点検及び評価

吉富町教育委員会

目 次

1	教育委員会の活動状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	教育施策の推進状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	2
	（1）確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実・・・・・・・・	2
	（2）豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進・・・・・・・・	3
	（3）豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現・・・・・・・・	4
	（4）特色ある町民文化の創造・・・・・・・・	5
	（5）いきいきとしたスポーツライフの創造・・・・・・・・	6
	（6）人権尊重の精神を育成する教育の推進・・・・・・・・	6

点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況について

評価項目	点検・評価
1 教育行政の運営に関する基本方針の決定及び教育委員会の活動に関すること	<p>○教育委員会を11回実施し、教育行政に関する重要事項等について、適時適切に慎重に論議を行うことができた。</p> <p>○学校訪問を兼ねた移動教育委員会では、授業・施設等の参観及び協議等を通して学校の実態を把握することにより、問題や課題等の解決を指導支援することができた。</p> <p>○会議以外の活動として、学校行事をはじめ各種行事への積極的な出席に努めた。そして、教育現場の実態把握や関係者との懇談・情報交換を行い、地域の実情に応じた施策を展開できるよう情報収集を行うことができた。(成人式、敬老会、文化祭、五月展、入園式、入学式、卒園式、卒業式、運動会、町民親善野球大会等)</p> <p>○町教育行政の基本方針である「吉富町の教育施策」を定めるとともに、教育委員としての資質向上のため、研修会や講演会等へ積極的に参加した。</p>
2 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃に関すること	○吉富町人材育成基金条例施行規則を一部改正した。
3 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	○教育委員会所管施設使用料条例改正、平成26年度の教育委員会当初予算(案)について、事務局が説明し、教育委員会で協議することができた。今後とも、予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定することができるよう、努力していきたい。
4 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	○平成21年度から幼保一体化施設(こどもの森)の幼稚園としてスタートした。合同活動や異年齢集団活動の一層の充実と幼稚園児の確保が今後の課題である。
5 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	○町雇用の臨時職員を「広報よしとみ」や「ハローワーク」で公募し、書類や面接等を通して下記の職員を採用することができた。(一般事務職、図書司書、図書整理員、給食調理員、地域活動指導員、非常勤講師)
6 県費負担教職員の人事の内申に関すること	<p>○京築教育事務所管内の教育長会議での連絡事項や協議内容等を教育委員会で確認するとともに、県費負担教職員の人事の内申を行った。</p> <p>○主幹教諭1名、指導教諭1名、指導方法工夫改善教員2名が配置された。</p>
7 教科用図書の採択の決定に関すること	○特記事項なし。
8 文化財の指定、保存、活用に関すること	<p>○文化財の指定、保存、活用については、本年度は下記のような取組を実施することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財調査申請17件 ・確認調査1件(天仲寺山城跡における公衆トイレ新設) <p>○文化財保護委員による町内指定文化財視察を実施した。</p>
9 請願、陳情、訴訟及び異議の申し立てに関すること	○特記事項なし。

2 教育施策の推進状況について

評価項目	点検・評価
<p>1 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実</p>	<p>① 確かな学力向上のための取組の推進</p> <p>○学力・学習状況調査及び標準学力調査の結果分析を的確に行い、全職員で学力向上プランを見直し、改善を図っていることは評価できる。 本年度は、「授業改善の Strategy」及び学力調査問題を活用した授業づくりを推進することで思考力・表現力を高める授業づくりができた。</p> <p>○学年に応じた補充学習の充実を図るために、朝のスキルタイムや毎週火曜日6校時を設定し、低学年・中学年は弱点補充のための時間、5・6年生は、活用力育成の時間とする取組を行っていることは評価できる。</p> <p>○漢字と計算の「吉富検定」や福岡県診断テストを各学期に1回実施し、基礎学力定着と学習意欲向上のために学校独自の工夫を継続して行っていることは評価できる。</p> <p>○夏季休業期間に第5学年全児童対象の5日間の算数強化講座を計画したが、トイレ改修工事のため実施できなかった。 来年度以降も継続実施していきたい。</p> <p>○学力向上検証委員会を年間7回開催し、小中学校の学力の向上における対策及び連携について協議できた。</p>
	<p>② 個性や能力を伸ばす教育の充実</p> <p>○本年度はきめ細かな指導の充実を図るための条件整備として、下記の5名の職員を配置した。今後も職員配置については積極的に進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県費負担・・・指導方法工夫改善教員2名 ・ 町費負担・・・外国語指導助手1名（ネイティブ） 非常勤講師1名（学習支援員） 臨時職員2名（学習支援補助員） <p>○本年度は、下記のような行事等を通して小・中学校の連携を図ってきた。今後は、相互の授業参観等を積極的に行うよう指導支援していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校教職員の吉富中学校研級発表会への参加 ・ 生徒指導連絡会・特別支援学級交流会・児童の体験入学
	<p>③ 未来を拓くキャリア教育の推進</p> <p>○各学年で指導の重点を決め、全教育活動を通してその達成に努めている。特に、総合的な学習の時間には下記のような取組を実施した。今後とも多様な体験活動ができるよう他機関等との連絡・調整等を積極的に支援していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よしとみ大発見（3年） ・ 特別養護老人ホーム鳳寿園訪問（4年） ・ 保育士体験（5年） ・ 吉富町の歴史調査（6年）
	<p>④ 社会の変化に対応する教育の充実</p> <p>○「吉富町英会話ふれあい事業」により、「小学校外国語活動」の更なる充実を図るため、町費負担外国語指導助手を派遣し、全学年での授業実施を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間派遣時数：低学年20時間、中学年30時間、高学年35時間、クラブ活動9時間 <p>○本年度、教師用ノートパソコンの入替え等 ICT 環境の整備をした。今後も ICT 環境の整備とともに、機器を活用した積極的な授業実践を指導支援していきたい。</p>
	<p>⑤ 特別支援教育の改善・充実</p> <p>○特別支援学級は、自閉・情緒障害と知的障害の2学級である。児童一人一人の教育的ニーズに応じた人的・物的環境整備の充実に努めており、特別支援教育コーディネーターを中心に校内体制が整備されている。</p>

	<p>⑥ 信頼される教育の確保と研修の充実</p>	<p>○学習支援員及び学習支援補助員の採用に当たっては、公募して面接を行い、信頼される人材の採用に努めた。</p> <p>○校外で行われる研修への積極的な参加や、教育実践の真価を問う教育論文応募を奨励し、教師としての専門的力量的の向上を指導支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡県教育センター専門研修 5名 応募20名 ・福岡県体育研究所専門研修（短期研修） 1名 ・福岡県道徳教育地域指導者研修 1名 ・外国語活動中核教員養成講座 1名 ・教職員中央研修 1名 ・福岡県教育論文応募 2名 ・築上郡地教委連絡協議会教育論文応募 3名 ・築上郡小学校教育研究会各教科部会授業提案 2名 ・各教科教育研究会福岡県大会基調提案者 2名 <p>○長期的な展望に立った教職員人事の推進に努めた。 本年度は、主幹教諭1名、指導教諭1名、指導方法工夫改善教員2名を配置することができた。</p>
	<p>⑦ 安心して学べる学校づくりの推進</p>	<p>○町設置の子ども発達支援専門員を活用し、不登校傾向にある児童・保護者の教育相談を実施した。（毎月1回実施） その結果、徐々にではあるが当該児童及び保護者の悩み等が解消しつつある。</p> <p>○児童の登下校の安全を守る一斉行動日を設定し、「子どもを見守る運動」の一層の拡充に努めた。（運動協力者約100名） この運動は町挙げての取組みであり、児童の安全確保に大きな効果をあげている。今後とも、是非継続していただくよう働きかけていきたい。</p> <p>○下記のような事業を通して、学校の安全・安心の推進に努めることができた。今後とも継続して取り組んでいく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの全面改修工事 ・地震対応の安全教室 ・津波を想定した避難訓練の実施 ・職員による安全点検の実施 ・専門業者による遊具の安全点検の実施 ・経年劣化に伴う各種工事
	<p>⑧ 保護者や地域に信頼される学校づくりの推進</p>	<p>○PDCAをサイクル化して、定期的な学校評価（自己評価）を行い、教育活動の改善に努めている。本年度は、評価の客観性を高めるため、学校関係者評価を定着させることができた。今後は、この学校関係者評価が地域との連携強化につながるよう指導支援していく必要がある。</p> <p>○開かれた学校づくりを側面から支援した。今後は、多様な地域人材の発掘等の支援を行っていく必要がある。 （学校・学級通信による情報発信、授業公開、ゲストティーチャーとしての地域人材の活用、子どもを見守る運動の推進、読書ボランティアによる本の読み聞かせ等）</p> <p>○学校の取組状況や子どもの活動の様子など、「広報よしみ」を活用して、地域住民に情報提供を行い、学校・家庭・地域の連携強化を支援した。</p>

<p>2 豊かな人間性や志を持ってたくましく生きる力を培う教育の推進</p>	<p>① 道徳性を養う心の教育の充実</p>	<p>○基本的な生活習慣や規範意識を育成するため、下記の取組を実施しているが、まだまだ十分な成果を挙げるまでに至っていない。今後は、関係機関等の連絡調整について積極的に支援していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA 新家庭教育宣言とタイアップした「あいさつ運動」や「早寝・早起き・朝ご飯運動」の実施 ・心地よい言葉かけを集めて紹介する児童会の取組 ・ロータリークラブとの協力による「敬老の日の葉書き」の取組 ・保育士体験 ・特別養護老人ホーム訪問の実施 <p>○本年度学校経営の重点目標である「ルールを守り、よく働く子ども」を育成するために道徳の時間の授業実践が着実に行われている。今後は今後は道徳的实践力をさらに向上させるためにも、家庭との連携の在り方について指導支援していきたい。</p>
	<p>② 自立心をはぐくむ体験活動の充実</p>	<p>○生活科や総合的な学習の時間等における地域の教育資源を活用した体験活動を実施するための、講師への謝金について予算措置をした。</p>
	<p>③ 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実</p>	<p>○平成23年度研究発表した食育の研究成果を活かし、給食の時間と学級活動を中心とした食に関する指導を継続しながら、健康教育の充実を図っている。</p> <p>○10月から1月まで毎週火曜日と木曜日の昼休みの終わり5分間を全校児童で走る「昼ランニング」を行った結果、児童の体力・運動能力の向上が図られた。</p> <p>○心に不安のある子どもについては、子ども発達支援専門員による教育相談を実施し、適切な助言を得ることができた。また、町指導主事のコーディネートにより、子ども発達支援専門員・吉富あいあいセンター子育て相談専門員及び幼稚園・小・中学校・放課後児童クラブとの連携が深まり、きめ細かな相談に対応することができた。今後とも、子ども発達支援専門員、町指導主事等の積極的な活用を促していきたい。</p>
	<p>④ 家庭・地域・学校における読書活動の推進</p>	<p>○第2次吉富町こどもの読書活動推進計画に基づき、同推進協議会を年2回開催し、年次計画に沿った読書活動を推進することができた。</p> <p>本年度は主に下記のような取り組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書充実のための予算措置 ・小学校図書室の書架を増加 ・指導主事による図書館教育及び読書活動の充実 <p>○小学校図書司書を1名配置（週4日）し、計画的な図書の整備、貸出、学習支援を行うことができた。</p> <p>○京築地区小学生読書リーダー養成講座に参加し、読書リーダーを2名養成して、校内の読書活動の充実・推進を図ることができた。京築地域アンビシャス体験フェスティバル（3月）にも参加し、ホールステージでパネルシアター等を披露した。</p> <p>○未就学児対象の「おはなし会」を12回実施した。参加者も増えている。 毎月第3水曜日 場所：子育て支援センター</p> <p>○ブックスタート事業（幼児への読書活動推進）を年4回実施。対象：1歳半検診受診者 場所：吉富あいあいセンター</p> <p>○町内の読書ボランティア（2団体）と連携して、幼児や児童への読書活動の推進に努めた。</p> <p>○小学校に福岡県立図書館より団体貸出を受け、授業及び読書活動の充実を図った。年間480冊（120冊4回）</p>

	⑤ 生きる力の基礎を育てる就学前教育の充実	<p>○こどもの森と学校との連携を深めるために、連絡会や情報交換会、授業参観、園児児童間交流等を定期的実施した。今後とも、連携強化を支援していきたい。</p> <p>○築上郡就学指導委員会主催の教育相談を2回（8月、11月）実施することにより、当該保護者へ適切な指導支援を行うことができた。</p>
	⑥ いじめ・不登校問題の解決に向けた体制の充実	<p>○校内いじめ・不登校問題対策委員会が中心となり町指導主事や子ども発達支援専門員等と連携しながら、いじめ・不登校問題に取り組んでおり、予防や改善に成果を挙げることができた。</p> <p>毎月1回いじめアンケートを実施しているが、現時点ではいじめ等の報告はない。しかし、不登校の児童が数名おり、今後とも連携を密にしながら継続的な取組を行っていかねばならない。</p> <p>○学校訪問（町教委）により、いじめ・不登校の実態や進捗状況を把握し、指導助言した。</p>
	⑦ 学校・家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	<p>○家庭の教育力向上をめざし、PTAの研修事業の内容や実施方法を工夫したり、給食試食会に食育講演会を取り入れたりすることで成果があがっている。</p> <p>○PTA総会の出席率が低く、家庭に直接働きかける場が設定できないのが現状である。</p> <p>○「県下一斉親子ふれあい週間」の取組をPTA主催で実施した。本年度が8年目であったが、各家庭により取組に温度差が見られる。今後とも活動が充実するよう支援をしていきたい。</p>
3 豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現	① 生涯学習基盤の整備・充実	<p>○図書室蔵書の計画的整備に努めた。 （DVD、大型絵本、小中学校の検定教科書等を含む。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月末現在の蔵書数約33,800冊、図書検索システムのアクセスも昨年度より増えている。
	② 学習機会・場の提供	<p>○町民のニーズに応じた学習の場の提供に努めた。</p> <p>本年度は、生涯学習講座として下記の講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着付け、マジック、料理、折り紙、ものづくり、パソコン、絵画、リサイクル <p>また、1日教室として「パン教室」を開催した。</p>
4 特色ある町民文化の創造	① 子どもの文化芸術活動の推進	<p>○こどもの森（幼・保一体化施設）、小学校の太鼓クラブ、中学校の吹奏楽部に対し、「キッズフェスティバル」への参加を働きかけ、フェスティバルの充実を支援した。</p> <p>○地域活動指導員1名を配置（県の事業）することにより、キッズクラブの活動を指導支援することができた。</p> <p>○教育委員会の職員が団体（吉富町文化協会、体育協会、よしみレディース、吉富歴史文化の会、子ども会、キッズクラブ）の事務局を担当することにより、活動を積極的に支援することができた。</p>
	② 伝統文化や文化遺産の保存・継承・活用	<p>○文化財保護委員による町内指定文化財の視察を実施した。今後とも計画的な文化財の保存・活用に努めていきたい。</p>

5 いきいきとしたスポーツライフの創造	① スポーツ環境の整備・充実	○吉富町総合型地域スポーツクラブ育成事業として、「吉富ジュニアスポーツアカデミー事業」を実施し、子ども達の体力向上とスポーツ活動の活性化を図るとともに、活動環境の整備充実に努め、総合的な少年スポーツ振興を推進することができた。
	② スポーツ活動推進体制の充実	○体育協会及びスポーツ推進委員の連携を促進するとともに、研修事業の充実を図った。
6 人権尊重の精神を育成する教育の推進	① 学校教育等における人権教育の推進	○小・中学校に福岡県人権教育実践交流会への参加を奨励し、教師の人権感覚の育成に努めた。また、問題提起等の発表を行うなど人権教育に積極的に取り組む姿も見られた。 ○こどもの森と小学校が人権教育に係る教師間交流（授業参観、協議会等）を行うことにより、人権に関する知的理解の深化と人権感覚の育成を図ることができた。 ○小・中学校に人権教育資料（図書等）を整備し、授業での活用を促進した。
	② 社会教育における人権教育・啓発の推進	○人権講演会を開催するとともに、フォーユー会館で人権展（小学校はポスター、中学校はポスターと標語）を開催した。この人権展については、地域の多くの方々が参加されており、人権教育啓発に大変役立っていると考えている。 ○懸垂幕（フォーユー会館）や「広報よしみ」等で人権展や人権相談所開設、県下一斉無料相談等について、町民に周知徹底することにより、人権教育の啓発に努めた。